

まちとこぐひと Town and Cyclist



「自転車まちづくり交流イベント2009



自転車まちづくり交流イベント 2009

自転車はどこを走るのか

2009年4月26日(日) 13:30-16:30

会場：大阪府社会福祉会館第一会議室

*10:00-12:50は**自転車まち巡りミニツアー**

「大阪おしゃれでおいしいパン屋巡り」も開催!

*HP http://skv.geocities.jp/cycletown_osaka/

このほど自転車文化タウンづくりの会は、自転車まちづくり交流イベント 2009「自転車はどこを走るのか」を、去る年4月26日(日)に開催しました。

まず最初に、パネリストによる話題提供があり、それから参加者全員によるグループディスカッションへと移りました。また当日午前には、あいにくの小雨と風のなか、有志でミニツアーも敢行しています。

会場には、自転車の愛好家、自転車のまちづくりに関心を持つ方、また自転車には(身体上の理由などから)乗らないけれども、自転車のあり方に強い関心や関わりを持つ方等々がおいでいただきました。当会の輪が自転車の愛好家だけでなく、様々なステークホルダー(利害関係者)に広がりつつある様子を映していたと思います。

それだけに、単なる親睦イベントではなく、日頃抱いている思いを或いは熱く、或いは冷静にぶつけ合う場となったのではないかと思います。発表をされたパネリストの方々、受付やミニツアーでお手伝いをいただいた皆さん、それから会場へ足を運んでくださった皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

今回は当会の主催する交流イベントとしては、一昨年(2007年)12月に開催した「自転車まちづくり交流イベント 2007 自転車を使いやすいまちにするにはどうしたらよいか・・・」に続いての2回目となります。まだまだささやかな会合ですが、自転車まちづくりの輪を着実に広げてゆく場の一つとして、これからも継続したいと考えています。当日の発表や、お寄せいただいたアンケートのまとめ等は、次号にてお伝えさせていただこうと思っておりますのでお待ちください。

[参加者数]

- 午前 (パン屋巡りツアー) : 18名
- 午後 (シンポ・Gワーク) : 29名



活動報告 自転車寺子屋

●第8回 2月3日(火)

pm6:30～ 於：あおぞらビル5F

参加：計6名

司会進行：藤江(幹事長)

1) 前回の寺小屋について振り返り

- ・ 大阪市へのヒアリング結果の報告（放置自転車対策が主）
- ・ 提案づくりについて、「元気な大阪」へのパブリックコメントを提出した。
- ・ 今後も提案づくりを進めることを確認した。

2) 提案づくりに関する幹事会（1月14日）での意見

- ・ 提案については、自転車レーンだけでなく、自転車道をつくるようにと、もっとアピールすべき提案の中身を具体的に。寺小屋で詳細をつめる。

3) 今後の予定について確認

①幹事会

【日時】3月26日(木) 午後6時30分～

【場所】あおぞらビル5階

②<仮称>自転車寺子屋拡大版・ミニシンポ

【日時】4月26日(日) 午後2時～

【場所】大阪市内

*午前中はまちめぐりツアーを予定、午後ミニシンポ

③総会

【日時】5月22日(木) 午後6時30分～ *終了後、懇親会を予定

【場所】あおぞらビル3階

・ 5月22日 総会 18:30

4) 意見交換

①「タンデム自転車」について

- ・ 視覚障害者も自転車に乗りたいという提言に対して神埼川の河川敷ではどうか。
- ・ 水都2009 水の都大阪8月?10月で実施を検討
- ・ 中之島の公園で許可を取って実施したい。
- ・ タンデムの価格は1台8～20万円。
- ・ 競輪JKAの助成金獲得を目指す。
- ・ 9月の5連休、9月22日にて水都2009のイベントにて走行予定。

②視覚障害者から見た自転車について（初参加のお二人を中心に発言いただく）

- ・ 自転車のいい面＝エコ、どこでも行ける、スペースを取らない、早い（その気になれば）
- ・ 自転車の悪い面＝歩道が駐輪天国になっている

③歩道での駐輪について

- ・ 難波で違法駐輪について調査したことがある。マルイ前には違法駐輪は全く無い。
- ・ 歌舞伎座の前は特にひどく、人が1人も通れない状態である。マルイ前のように整理や注意する人がいれば問題ないが、そうでない場所はひどい状態である。
- ・ JRや私鉄の駅単位での取り組みが必要。

- ・ 昨年秋から取り締まりを強化している。キタや淀屋橋は明らかに違法駐輪が減った。撤去の頻度を増やしている。声かけ運動も有効である。
- ・ ミナミでは、違法駐輪は減っているが、寂れている印象を受ける。千日前の有料駐輪場により違法駐輪は減っている。3時間100円。
- ・ 此花区では、ウイークリーは整理のボランティアがいる時間帯は歩道を通れる。日曜日は違法駐輪により車いすは通れない。

④電動車いすについて

- ・ 無謀な自転車が多い。
- ・ 自転車の並走が怖い→自転車の並走は道路交通法違反であるが、守らない人が多い。
- ・ 歩行者、車いす、自転車の住み分けができていればいいのだが。
本来、自転車は車道通行であるが、そのようになっていない。ほとんどの歩道が自転車通行可となっている。自転車は歩道では徐行しなければならないが、守られていない。
- ・ 電動車いすは、通常は歩行者の扱いであるが、事故の場合は二輪車の扱いとなる。電動車いすに乗るためには講習を受ける必要がある。
身体能力の認定がいる。
事故を起こすと制限をかけられる。4.5km/h仕様となる。通常は6km/h。7km/hを超えると車道を走らなければならない。
- ・ 歩道を斜めに走る自転車が危ない。
横道に入るために斜めに走る自転車がいる。
- ・ 車いすは歩道の左端を通行する。
左を空けると、そこを抜けようとする自転車があり危険である。
- ・ 駐輪している自転車を出すときに、後ろを確認しないため、ぶつかる事がある。
- ・ 電動車いすは約90kgあり、人の体重を60kgとすると、150kgぐらいになる。
回転しながら壁にぶつくと壁に穴があく。子供にぶつくと危険である。
- ・ 歩道が狭い場合や、歩道が無い場合は車道の左端を通行する。橋の歩道は狭く危険。歩道から落ちる場合もある。

●第9回 3月18日(水)

pm7:00～ 於：あおぞらビル5F

参加：計9名

司会進行：藤江(幹事長)

①〈仮称〉自転車寺子屋ミニシンポについて記録は次ページ以降の企画書に反映

シンポの今後の流れ：

- ① 寺子屋の議論を踏まえ、次回幹事会（3/26木）で内容を確認、決定。
- ② 事務局で広報文をつくり参加者を募る。記者へ事前の告知と当日取材について依頼をする。各自がつながりのある報道機関へ知らせる。（視覚障害者団体や車椅子関連の報道機関などへも）

- ③ 視覚障害者と車いす利用者の代表としてだれが報告をするかを各団体で決める。
- ④ 報告者は4月17日(金)までに、報告者名と発表内容のメモを事務局まで提出。
- ⑤ グループワークのテーマを何にするかは、報告者の発表内容を踏まえた上で事務局が決める。
- ⑥ シンポの最終確認を次回の寺子屋で行う。

東淀川区の自転車マップが完成



当会が取り上げられたのと同じNHKのニュース番組(3月9日)で紹介されていたので、既にご存知の方もおられると思いますが、大阪経済大学(東淀川区)の学生たちを中心に制作が進められていた自転車マップが完成しました。当会のメンバーもアドバイスなどでお手伝いしています。

自転車マップづくりの輪が広がること、マップづくり

柏原誠さん
(大阪経済大学経済学部講師・本会会員)より

大阪経済大学の授業「地域調査」で作成した東淀川区(大学の地元)の自転車マップです。今後、大学と地元の連携という形をとりながら、東淀川区の自転車の利用のあり方を考えたり、まちの魅力を再発見する企画などにも活用したいと企画中です。その際には、自転車文化タウンづくりの会にもご協力をお願いすることもあるかと思えます。よろしく願いいたします。

を通じて、一人でも多くの方が自転車のあり方について考えるようになること、そのお手伝いができるのは、当会としても嬉しいことです。

非売品、A2版、両面カラー刷。お問合せは下記まで。

大阪経済大学地域活性化支援センター
 電話 06-6328-2431 (代表)
 Fax 06-6328-7771 (直通)
 Eメール machidukuri@osaka-ue.ac.jp

自転車を活かしたまちづくり 堺市

「環境モデル都市」の認定を受け、持続可能な環境都市「クールシティ・堺」の実現をめざし、そのための重要な取り組みのひとつとして環境負荷の少ない自転車を活かしたまちづくりを進めている堺市が、意欲的な自転車施策を策定している。

平成21年度では、自転車走行環境の整備に向けた基本計画を策定するとともに、臨海部～大和川エリア、堺都

心～百舌鳥古墳群エリア、南部丘陵エリアの3か所を先導エリアとして整備計画及びアクションプランの策定を行い、国指定のモデル地区である新金岡地区における自転車走行環境の整備工事などを行う。数か所で自転車が自由に貸出・返却できるコミュニティサイクルシステムの構築に向けた社会実験も実施する予定。

さらに、これらの施策を総合的に推進する部署として「自転車まちづくり推進室」(建設局)を新たに設けて、ハード面だけでなく、駐輪対策や利用マナーの向上、健康づくりなどのソフト面の両面から推進する体制を整えている。当会近隣の自治体による貴重かつ意欲的な取り組み例として、動向を注目したい。

事業別の取り組み事項と予算は下記の通り

- 自転車走行環境整備事業 (141,775千円)
 - ・自転車走行環境に関する調査検討 全市の基本計画の策定 臨海部～大和川エリア、都心～百舌鳥古墳群エリア、丘陵エリアの3エリアの整備計画とアクションプランの策定
 - ・自転車走行環境整備工事 概成自転車走行区間の環境整備 延長片道5.8km 新金岡地区における工事着手(国指定事業)
- コミュニティサイクルシステム構築事業 (10,000千円)
 - ・「クールシティ・堺」の実現を目指し、市内の主要な場所にレンタサイクルスポットを設置し、自転車を活用したまちづくりを推進

こぐひと紹介 一依藤光代さん(大阪大学大学院)

こんにちは。依藤光代と申します。交通について学んでいる、自転車好きの学生です。

私にとっての自転車は「自由の象徴」です。大学3年生の夏、大学院に進学するために黙々と試験勉強をしていました。誰もいない暗い研究室で一人ポツンと机に向かっていている時に、ふと窓からよく晴れた7月の空が見えました。そのとき固く心に誓ったのです。試験勉強から解放されたら、考えうる限りの冒険をしよう。その一つが、自転車で風を切ってどこまでも遠くへ行くことでした。

自転車との出会いが、身近な「街」の再発見でもありました。自動車なら見落としてしまう風景も、じっくり観察しながら走ることができます。電車より簡単に寄り道ができますし、時には思い切って魅力的な路地に迷い込んでみることも可能です。自転車での移動は手段ではなく、私にとっては重要な目的の一つです。

ご縁があり、2008年にオランダのGroningen大学に留学しました。人口は豊中市の半分にも満たない小さな地方都市で、「自転車にフレンドリーな街」として世界的にその名を知られています。通学のため毎日自転車にりましたが、その快適な環境には仰天します。まず、危険な目に遭ったことはありません。完全に歩行者と自転車と自動車が分離されているのです。次に、イライラすることはありません。徹底してルールを守るため、追い越す時も整然としています。実に気持ちの良い自転車

ライフでした。



オランダの大学で、自転車に関する調査を行ったチームメートと（右端）

帰国してから、自転車での走り方を見直しました。危険でない限り、車両としての自覚を持ち、車道空間を走行するようにしています。歩道は、子供やお年寄りを含めた全員が安心して歩くことができる空間であるべきだと、確認したからです。これから日本でもルールが一層整備されていくと信じていますが、それをただ待つだけではなく、私自身が実行することで少しでも何かが変わればと思いつつ、今日も自転車と走っています。

活動経過 (●: 当会主催 ◎: 他団体との共催 ○: 当会以外の主催)

日時	事項	会場・集合地	主催
● 2/03 (火)	第8回自転車寺子屋	あおぞらビル	
○ 3/03 (火)	放置自転車問題シンポジウム 「長堀地区の放置自転車問題を考える」	ハートンホテル南船場 (大阪市中央区)	長堀・心斎橋タウンコミュニティ
○ 3/07 (土)	第8回バイコロジー京都・市民フォーラム	京大会館 (京都市左京区)	京都府バイコロジーをすすめる会
● 3/09 (月) pm6:10~	当会の活動がテレビで紹介 「大阪の中心部で自転車ツアー、その意味は？」	NHK 総合テレビ「ニューステラス関西」	
○ 3/20 (金)	チャリンコマナーアップキャンペーン	クリスタ長堀 (大阪市中央区)	
○ 3/22 (日)	「輪の国びわこ」キックオフイベント	イオンモール草津 (滋賀県草津市)	日本風景街道「琵琶湖さざなみ街道・中山道」パートナーシップ
● 3/26 (木)	幹事会	あおぞらビル	
● 4/22 (水)	第9回自転車寺子屋	あおぞらビル	
○ 4/25 (土)	春の自転車マップづくりラン (歩行会)	地下鉄谷町九丁目	おおさか自転車マップづくりの会
● 4/26 (日)	自転車まちづくり交流イベント 2009 「自転車はどこを走るのか」	大阪府社会福祉会館 (大阪市中央区)	

行事予定 (●: 当会主催 ◎: 他団体との共催 ○: 当会以外の主催)

日時	事項	会場・集合地	主催
○ 5/1~末	自転車月間		自転車月間推進協議会
● 5/20 (水)	第10回自転車寺子屋	あおぞらビル	
● 5/22 (金) pm6:30~	自転車文化タウンづくりの会総会 *終了後、懇親会を予定	あおぞらビル3F	
● 5/31 (日)	タンデム自転車の試乗会	「笹舟倶楽部」 (西宮市)	協力: 横井昌市様
○ 5/31 (日)	「COP15 CYCLING TOUR デンマーク大使と走ろう、エコサイクリング。」 京都ステージ	京都市役所前広場	デンマーク大使館

各地・全国のごき

- ◇ 大阪市で放置自転車対策が最重点目標に 大阪市の平松市長が2月12日発表した「政策推進ビジョン」によると、街頭犯罪やごみの減量と並んで、放置自転車対策がその柱に掲げられた。全国ワースト1の返上を目標に、約5万台とされる駅周辺の放置自転車を平成23年度には2万5千台へ半減させるとしている。
『「元気な大阪」をめざす政策推進ビジョン』によると、「この3つの取組みが、個々の課題の解決にとどまらずさまざまな相乗効果をもたらし、「協働」の輪が広がっていくことをめざします」とある。
- ◇ 堺市が意欲的な自転車推進策を策定 「環境モデル都市」の認定を受け、環境負荷の少ない自転車をその重要な取り組みの一つに位置付けている堺市が、平成21年度施策事業に自転車走行環境整備に関するプランを盛り込んでいる。基本計画の策定のほか具体的な整備として、延長片道5.8kmの自転車走行区間整備、新金岡地区における工事着手(国指定事業)に予算を計上。またハード面だけでなく、コミュニティサイクルシステムの実現に向けた社会

実験や、「自転車まちづくり推進室」(建設局)を新たに設けて関連施策を総合的に推進する体制も整える。(詳細は p.3 を参照)

- ◇ 京都市が駐輪場整備に助成 京都市は、駐輪場の整備により自転車等の放置を防止し、道路、公園その他の公共の場所の機能を保全するとともに、良好な都市環境の形成に資することを目的として、「京都市民間自転車等駐車場整備助成金事業」を本年3月に創設した。平成18年10月策定の「都心部放置自転車等対策アクションプログラム」に基づく施策。立地上の理由等により公共の駐輪場の整備が困難な地域において、民間活力による駐輪場整備の際に市が設置費用などを助成するもの。第1回の募集受付は6月1日(月曜日)から開始。
- ◇ 警察庁、幼児2人乗せ自転車の安全基準公表 警察庁は4月9日、幼児2人を絵前後に乗せてもよいとする自転車の安全基準を公表した。基準は、①十分な強度、②十分な制動性能、③駐輪時の転倒防止のための操作性及び安全性など7項目。警察庁は今年の夏にも、基準に適合した自転車による3人乗りを容認する都道府県公安委員会規則の改正を行う予定。
- ◇ COP15 会議にむけた自転車ツアー 今年12月にコペンハーゲンで開かれる COP15(気候変動に関する国際連合枠組条約第15回締約国会議)に向けて、デンマーク大使館が日本各地を自転車で巡る啓発イベント『COP15 CYCLING TOUR』を各地で順次開催する。

「京都からコペンハーゲンへとつなぎ、2009年12月に開かれる COP15 コペンハーゲンへの関心を集めるため、フランツ・ミカエル・スヨール・メルビン駐日デンマーク大使は2009年5月、日本を自転車で巡る旅に出ます。大使はこの旅を通じ、環境、気候変動、12月にコペンハーゲンで決定される対策について、人々に関心を持ってもらいたいと願っています。デンマーク大使が主催するこのプロジェクトは、日本サイクリング協会をはじめ、様々な公的機関や民間企業などが支援する、「カーボン・ニュートラル(包括的に二酸化炭素を排出しない)」をめざすイベントです。」「このサイクリングツアーは、2009年5月23日東京からスタートし、安城、福島、札幌、宮崎、広島、今治、和歌山、京都を巡り、最後にコペンハーゲンで終了します。」

—デンマーク大使館サイトより—



第8回バイコロジー京都・市民フォーラム(3/7)

チャリンコマナーアップキャンペーン (3/20)



「自転車に乗ろう！輪の国びわこへ」キックオフイベント(3/22)



交通死亡事故発生状況 状態別

2009年初～3月末

	大阪府			京都府			兵庫県		
	発生件数	前年増減	構成比	発生件数	前年増減	構成比	発生件数	前年増減	構成比
自動車	8	3	12.7%	8	4	25.0%	14	1	34.1%
二輪車	12	-12	19.0%	5	1	15.6%	5	-1	12.2%
原付※1		0		2	2	6.3%	1	-7	2.4%
自転車	13	4	20.6%	5	3	15.6%	11	4	26.8%
歩行者	29	13	46.0%	12	0	37.5%	10	-5	24.4%
その他	1	1	1.6%	0	-1	0.0%		0	0.0%
合計	63	9	100.0%	32	9	100.0%	41	-8	100.0%

	3府県合計			全国		
	発生件数	前年増減	構成比	発生件数	前年増減	構成比
自動車	30	8	22.1%	370	-16	33.0%
二輪車	22	-12	16.2%	94	-17	8.4%
原付※1	3	-5	2.2%	65	-15	5.8%
自転車	29	11	21.3%	146	2	13.0%
歩行者	51	8	37.5%	445	25	39.7%
その他	1	0	0.7%	2	0	0.2%
合計	136	10	100.0%	1122	-21	100.0%

※各府県警、警察庁発表資料(速報)より
 ※1、大阪府では、原付の件数は自二輪に繰入

お断り：前号まで、前月までの速報値を掲載していましたが、警察の統計発表が遅れる傾向にあるため、情報を1ヶ月遡ることにしました。ご了承のほどお願いいたします。

編集後記 Editorial

ほんの一泊だったけれども、先日久しぶりにツーリングらしい遠征をしてきた。都会を離れて目に付いたのは、コンビニの備えている駐車場のだだっ広さ。そんなに広い土地があるならスーパーをやればいいのに、と思うのは都会人の性だろうか。私たちと少し離れたところに、車なしには夜も日も明けない暮らしの場が広がっている。

と、呑気に旅の余韻に耽っていたら、忌野清志郎の訃報が飛び込んできた。同じチャリダーとして、いつか一緒に盛り上げられる日があるだろうか、と抱いていた夢が、これで全くの叶わぬ夢となってしまった。この場を借りてご冥福をお祈りする。(川)



「自転車文化タウンづくりの会」

□会員数

- 一般会員： 44名
- 学生会員： 4名
- 賛助会員： 6団体・人

- ・(株)キクテック
- ・中村博司(自転車博物館館長)
- ・総合調査設計(株)
- ・(株)ワークルーム
- ・CASE/まちづくり研究所
- ・(財)公害地域再生センター(あおぞら財団)

.....順不同、敬称略

□メンバーリスト

登録数：95アカウント

※本誌記事の無断転載はお断りいたします。転載にあたっては、事前に事務局までご連絡のほどお願いいたします。

ご入会の案内

お申込資格

- ・当会の設立趣旨をお読みいただき、ご賛同いただくことがお申し込みの資格となります。
- ・他に必要な資格は一切ありませんが、できれば会の活動においていただくことをお勧めいたします。

お申込方法

- ・入会申込書を当会ホームページよりダウンロード
- ・必要事項をご記入の上、事務局・あおぞら財団までご送付下さい。
- ・年会費は、事務局(あおぞら財団)で現金でお支払い頂くか、下記の銀行口座にお振込み下さい。
- ・賛助会員お申込の方は、あおぞら財団までご一報下さい。

年会費・口座

- 一般会員 2,000円
- 学生会員 1,000円
- 賛助会員 5,000円/1口

東京三菱UFJ銀行 店番:006 口座番号:4563916
 口座名:自転車文化タウンづくりの会 幹事長 藤江徹

『まちとこぐひと Town and Cyclist』 第4号

編集人：川内義行

発行日：2009年05月18日(概ね隔月発行)

発行所：「自転車文化タウンづくりの会」

事務局：公害地域再生センター(あおぞら財団)内

大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4F

Tel 06-6475-8885 Fax 06-6478-5885

e-mail: webmaster@aozora.or.jp

ホームページ:

http://sky.geocities.jp/cycletown_osaka/index.html/

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/cycletown-osaka>